



小名浜港長期構想のイメージパース（平成28年12月福島県策定）

しおさいかわら版

小名浜にいわきF.C スタジアムを誘致する会

小名浜を元気にしたい!!
小名浜から、元気を発信したい!!

平成30年8月、「いわきF.C スタジアムを小名浜に誘致する会」が小名浜まちづくり市民会議佐藤毅会長を発起人代表として小名浜まちづくり百年の計を賭け、スタジアム誘致へ向け活動を開始しました。

発行所
小名浜まちづくり
市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成31年2月20日

昨年、小名浜では、小名浜港背後地整備事業として進められてきた都市計画道路平警城線（通称「鹿島街道」）の小名浜港までの延伸・4車線化や、イオンモールいわき小名浜のオープンなど、小名浜まちづくり市民会議が地域の皆さまと描いてきたグラウンドデザインが様々な形で実現しております。

また、小名浜マリブリッジが完成し、小名浜港東港地区の整備や3号ふ頭の緑地整備が進められるなど、港湾エリアの開発も加速しているとともに、常磐自動車道と港湾エリアを結ぶふくしま復興再生道路「小名浜道路」も平成30年代前半の開通を目指し工事が進んでおり、これからの数年間で小名浜のまちはますます進化しようとしています。

まさに港とまちが一体となったまちづくりの具現化により、小名浜百年の計を見据え、まちが大きく変貌を遂げつつあります。

このような中、アンダーアーマーブランドを展開する株式会社ドームがいわき市に進出し、同社がバック

アップするサッカーチームいわきF.Cが天皇杯等で快進撃を続けています。彼らは、「スポーツを通じて、いわき市を東北一の都市にする」とのビジョンを掲げ、ユースやジュニア選手の育成に取り組みなど将来に向け布石も打っています。

現在、いわきF.Cは、Jリーグへの昇格を見据え、サッカーのみならず日常的なエンターテインメント性も兼ね備えたスタジアム建設を計画しており、いわき市でも、今年度、事業可能性調査を進めています。

スタジアムに、まちづくりの面で大きな期待が寄せられますが、いわき市が東北一の都市を目指すには、ポテンシャルが最も大きい立地は小名浜港エリアに他なりません。いわきF.CのJリーグ昇格へ向けた応援とスタジアムの小名浜への誘致に向け、地域が力を合わせ運動を展開して参りたいと考えております。

小名浜港の港湾背後地にはイオンモールが開業しましたが、震災前は年間250万人もの人々が訪れたアクアマリンパークは、見た目こそ被災前の姿に復しているものの、以前の賑わいは取り戻していません。核となる施設を生かし交流人口を増加させるには、更なる投資を呼び込む必要があります。小名浜への来訪者をいわず市内に回遊させる仕組み、定住人口の減少を交流人口の増加で補う仕組みを創り上げていく必要があります。

スタジアムはそうした小名浜のまちづくりの「完成

形」に向け起爆剤となるもので、365日ワクワク感で満たされたエリアづくりを通して、いわき市全体の活力の源泉を創り上げていきたいと考えています。



▶カナダ・バンクーバーにあるBCプレイススタジアム（上）夜になると建物が水面に映し出され幻想的（下）

1月全体会議

1月31日(木)、小名浜まちづくり市民会議の全体会議が、まちづくりステーション小名浜で行われました。

「新たな小名浜のランドデザイン」基本構想として、ランドデザイン策定特別委員会の川田政雄委員長より説明がありました。

はじめに、小名浜まちづくりの取り組みの歴史を年表を活用して説明し、次に、第2期ランドデザインを、「実現したこと」「継続中のこと」「出来なかったこと」に分け検証しました。さらに、第3期ランドデザインのコンセプトづくりの為に、今後のまちづくりのテーマを、「小名浜

港湾背後地に新たな魅力の創造」「市街地核の再編」「少

子化を背景に小中学校その他の公共施設の統合再編」「高齢化を見据えて公共交通の整備」の4つに設定し、グループに分かれて議論しました。

その後、班ごとに発表がなされ、後日取りまとめを行い、ランドデザイン改訂に活かしていくこととしました。



締切間近！お問い合わせ TEL53-5175

小名浜みなと塾



1月19日(土)、将来のいわき市を担う小中学生の皆さんに小名浜の海や港への理解を深めていただくこと、地域学特別体験講座「小名浜みなと塾」を開講しました。

児童・生徒と保護者19名が参加し、国土交通省小名浜港湾事務所の業務艇に乗り込み、海上から小名浜港を観察しました。埠頭は国際条約により一般の人が入れないこともあり、普段は見られない港の姿に参加者は興味深々。また、16年前に小学生が描いた魚の絵

小名浜学事始め

「浄光院の梵鐘」

毎朝6時に小名浜の街に響くのは浄光院の梵鐘(ぼんしょう)の音です。同寺は江戸時代、磐城平藩内藤家時代に小名浜御殿が置かれた西側にあり、内藤露沾(ろせん)が訪れ撰んだ「小名浜八景」の一つ「虎山の晩鐘」の場所。

この頃の鐘(古鐘)は寛文年間につくられ、現存する鐘は、延享5年(1748)に磐城平の椎名久兵衛国光によりつくられました。鐘

が、今も防波堤で小名浜港を通る船を迎え入れている姿を初めて目にして驚く人もいました。知っているようで知らないことが多い小名浜の海・港が体験でき、参加者はとても満足していました。



には「二折鐘聲 當願衆生 脱三界苦 得見菩薩」の願文と、小名浜四カ村の名主と寄進者名、小名浜代官・竹垣次部右衛門と代官所詰役人の名前が刻まれています。250年前の「浄光院梵鐘」は、平成6年(1994)に市指定有形文化財(工芸品)になりました。



小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ 全体会議開催のお知らせ

2月28日午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階において、2月全体会議を開催します。今月はいわき地域学会 副代表幹事の夏井芳徳氏を講師にお招きし「小名浜の戊辰戦争」について講演して頂く予定です。会員の皆様はお誘い合わせの上、是非ご参加ください。また、全体会議は毎月第4木曜日、今後の予定は3月は28日、4月は25日を予定します。お繰り合わせの上、ご参加ください。



▲沖防波堤の内外両面に魚の絵が描かれています

小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？
年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円
お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜)
TEL：52-1275 FAX：52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp

